

■ 概要

○被災箇所に係る復旧整備状況

・平成29年度末まで

国有林治山事業：溪間工55基、山腹工33箇所、
地すべり防止工7箇所

民有林直轄治山事業：溪間工69基、山腹工70箇所

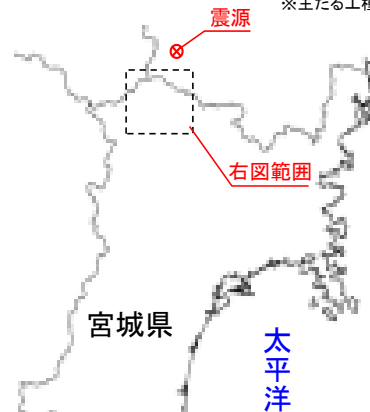
林道災害復旧事業：10路線

・平成30年度計画

国有林治山事業：溪間工 0.5基、山腹工1箇所

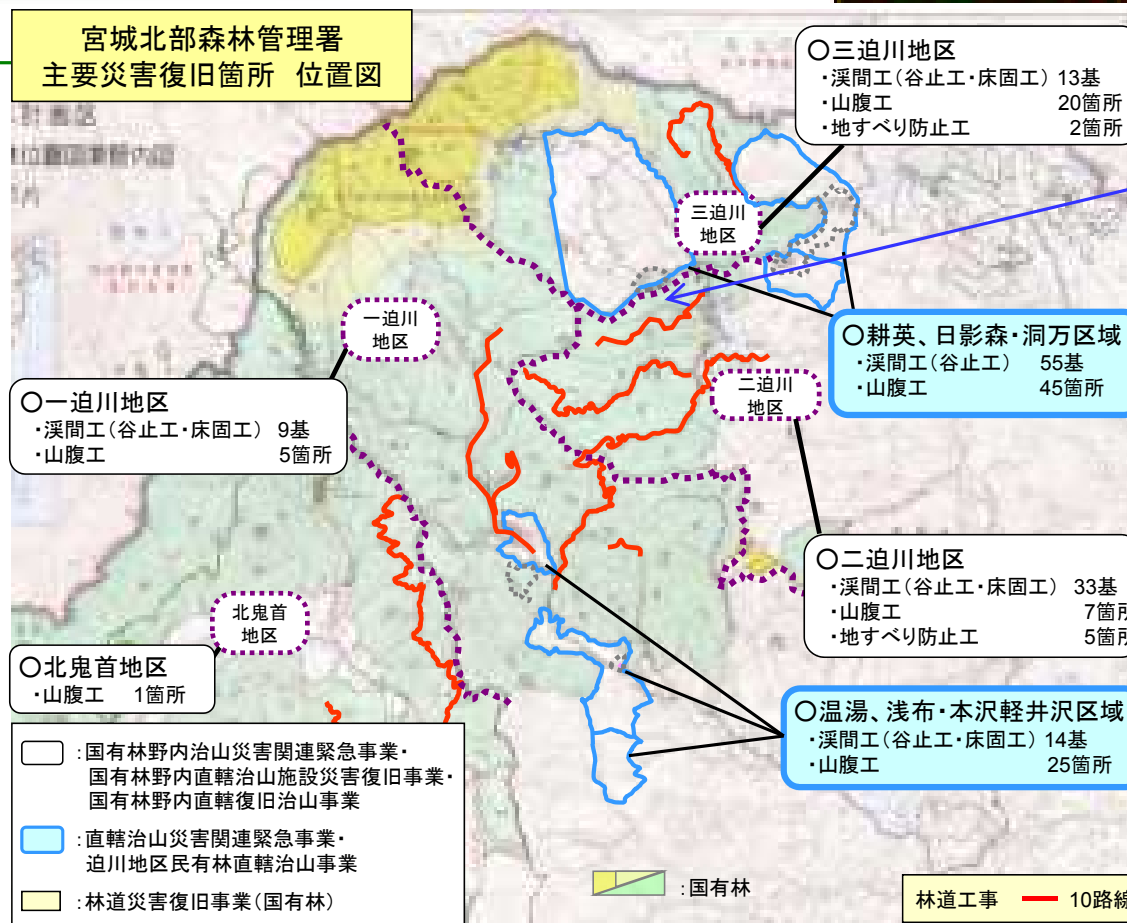
民有林直轄治山事業：溪間工 1基、山腹工2箇所

※主たる工種を記載



平成20年 岩手・宮城内陸地震の記録
2008年6月14日 午前8時43分頃発生
地震の規模 M7.2
最大震度 6強(宮城県栗原市、岩手県奥州市)
震源地 岩手県内陸南部
震源の深さ 約8km
山腹崩壊箇所 1,062箇所(宮城県内、H20東北森林管理局調べ)

宮城北部森林管理署 主要災害復旧箇所 位置図



荒砥沢地すべりに監視カメラを設置しています。
東北森林管理局ホームページのトップページ左
にある「岩手・宮城内陸地震荒砥沢監視カメラ」
のバナーをクリックすると見ることができます。
(<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/index.html>)



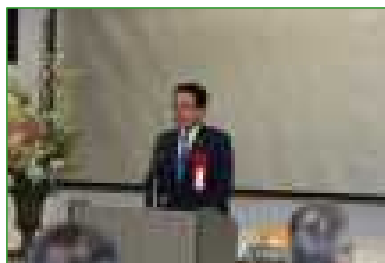
平成31年2月25日撮影



司会は、地元栗原市栗
駒出身、栗原市ドリー
ムアンバサダー
菅原美話さん

【写真右】

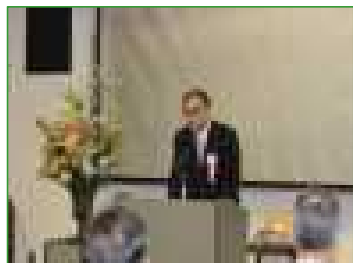
右より 林野庁織田森林整
備部長、小島東北森林管理
局長、宮城県小杉農林水産
部次長、千葉栗原市長



栗原市
千葉健司市長の祝辞



宮城県への
治山施設の引継ぎ



林野庁 森林整備部
織田部長の挨拶



宮城県農林水産部
小杉次長の祝辞



宮城北部森林管理署
相澤署長の開会のことは



東北森林管理局
小島局長の式辞

宮城北部森林管理署では、平成20年岩手・宮城内
陸地震により甚大な被害があった民有林の復旧事業
である「迫川地区民有林直轄治山事業」が本年度で
完了することから、1月24日(木)栗原市栗原文化
会館において「迫川地区民有林直轄治山事業完了記
念式典」を開催しました。
式典には宮城県、栗原市及び関係者約60人が出席
し、小島孝文東北森林管理局長からは「未永く地域
の安全・安心が保たれ、豊かな森林がよみがえるこ
とを願う」と式辞が述べられ、千葉健司栗原市長か
らは工事完成の御礼とともに「栗駒山麓を軸とした
観光及び防災教育や研究を進めて参りたい」との祝
辞がありました。
今後、施工された治山施設は宮城県に移管され管
理されます。

迫川地区民有林直轄治山事業
完了記念式典

平成30年度 工事施工箇所（30年度工事完成）

① 湯ノ倉上流治山工事
〔溪間工（鋼製枠谷止工）〕

鋼製枠（30年度、施工延長25m）
右岸側は31年度工事予定



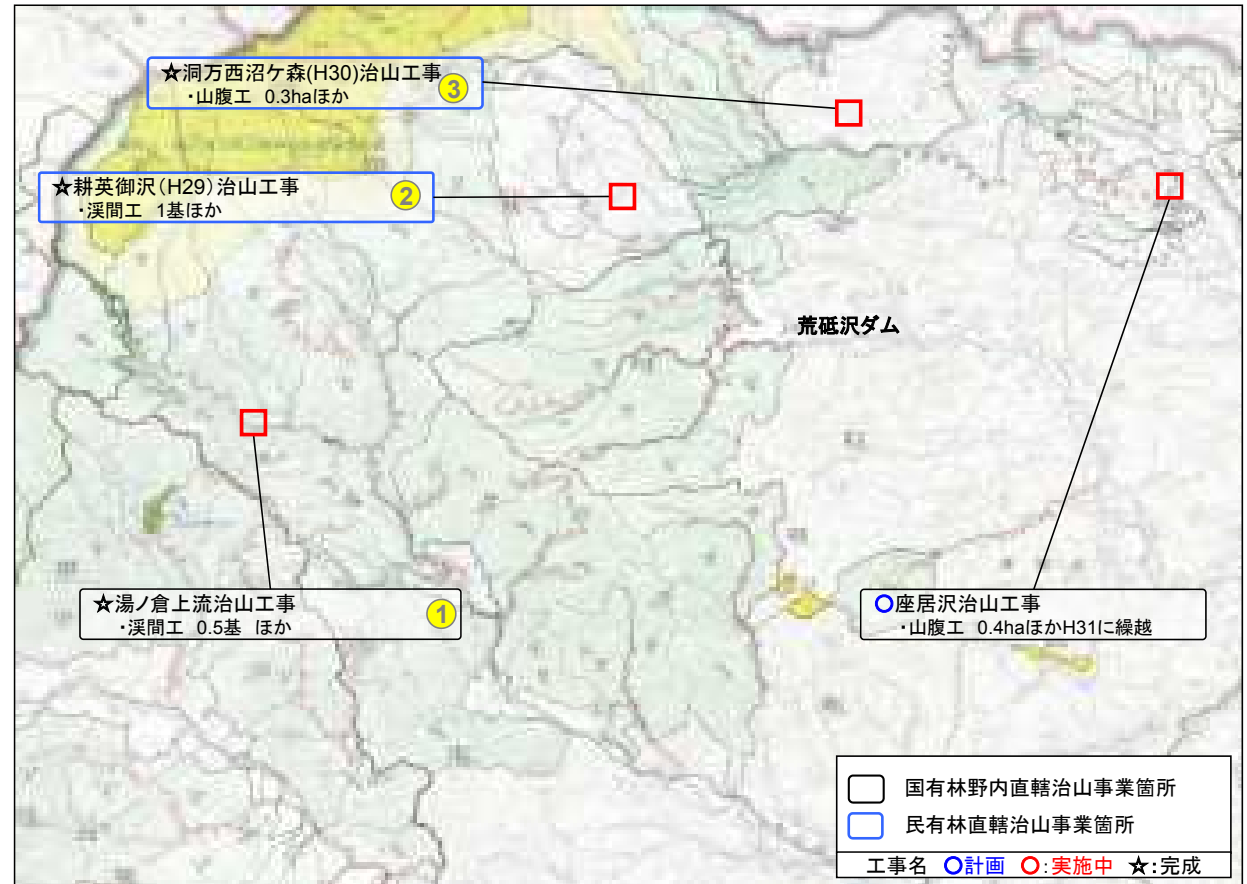
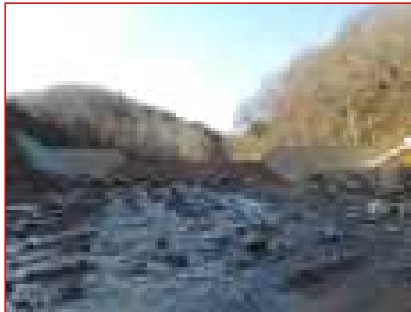
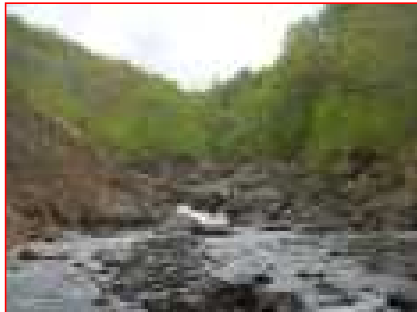
平成29年6月撮影



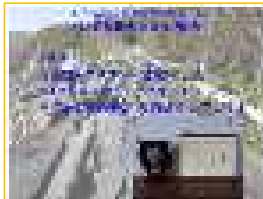
平成30年11月撮影

② 耕英御沢（H29）治山工事
〔溪間工（コンクリート谷止工）〕

コンクリート谷止工（73m）

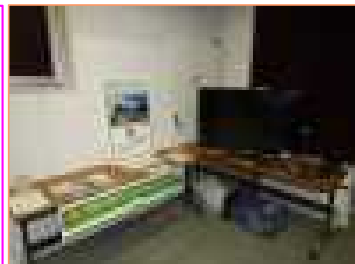


平成30年度 森林・林業技術交流会発表会
東北森林管理局林政記者クラブ賞を受賞

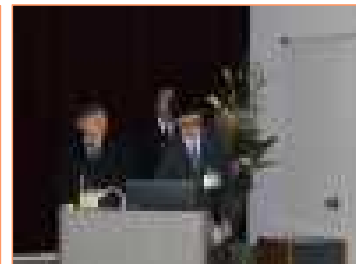


平成30年度 森林・林業技術交流会発表会が平成31年1月31日から2月1日にかけて秋田市の交流館において開催されました。当対策室からは佐藤治山技術官と河合治山技術官が「迫川地区民有林直轄治山事業完了について」と題し、岩手・宮城内陸地震発生時から現在までの復旧対応の成果及び崩壊した山林が緑に復旧していく様子などを発表しました。その結果、今年度の東北森林管理局林政記者クラブ賞を受賞しました。

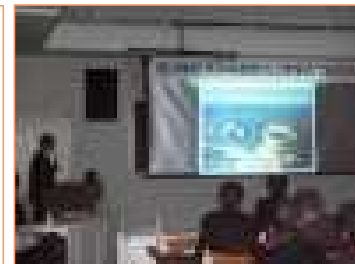
栗駒山麓ジオパーク推進室展示コーナー



VR映像 H31.4にオープンするビジターセンターで設置されます



宮城北部森林管理署山地災害復旧対策室、佐藤治山技術官、河合治山技術官による「迫川地区民有林直轄治山事業の経過説明」、この10年間の事業成果を説明しました。



東北学院大学 宮城 豊彦 教授による特別講演「2008年岩手・宮城内陸地震による斜面災害についてから得られた教訓」

迫川地区民有林直轄治山事業
完了記念式典（その2）